Vol.94　実戦を想定した際の演奏を考えてみる　～その 4～

では、『10 分トレ』vol.94、始めていきましょう。

今回は、これまたセッションで取り上げられることも多い、“Just the two of us”を題材にギタープレイを考えていきましょう。

ジャンル的にはソウルや R&B になるので、その手のジャンルにあまり馴染みが無い人もいるかもしれません。

まずは原曲を聴いてみましょうか。

※youtube リンク(万が一リンク先が削除されている場合は、曲名で検索してみて下さい)
Grover Washington Jr - Just the two of us
↓↓
https://youtu.be/WOuI4OqJfQc

楽曲の構成は、イントロ、A パート、B パート(サビ的な部分)、C パート(間奏)と言った感じですね。

で、聴いてみるとわかるのですが、B パートまでギターが入っていません。

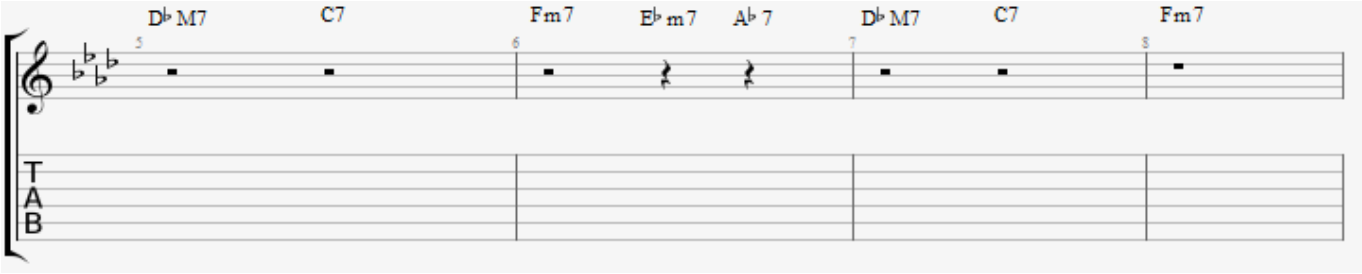
こう言った曲を演奏する時、同じ様なバンド編成で出来るならば、原曲と同じ様に弾けばいいのですが、たまにそうではない場合がありますよね。

例えば、鍵盤がいない事があったりして、「じゃあ、ギターでイントロと A パートも何かやってよ」と言われたとしたらどうしますか？

今回はその辺りを考えてみましょう。

まず、イントロ～A パートのコード進行は以下の様になっています。

譜例 1、Just the two of us、イントロ～A パート、コード進行



Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

イントロは上記 4 小節のパターンを 2 回繰り返していますね。

一回りめは(他のパートが原曲の様に演奏するならば)自分以外はドラムのみ、二回り目はベースが入ってきます。

原曲の鍵盤はフレーズっぽいものを弾いていますが、ギターでそれを再現するのは少し無理がありますし、もし原曲を知らない場合はコード進行のみを見て弾くことになりますね。

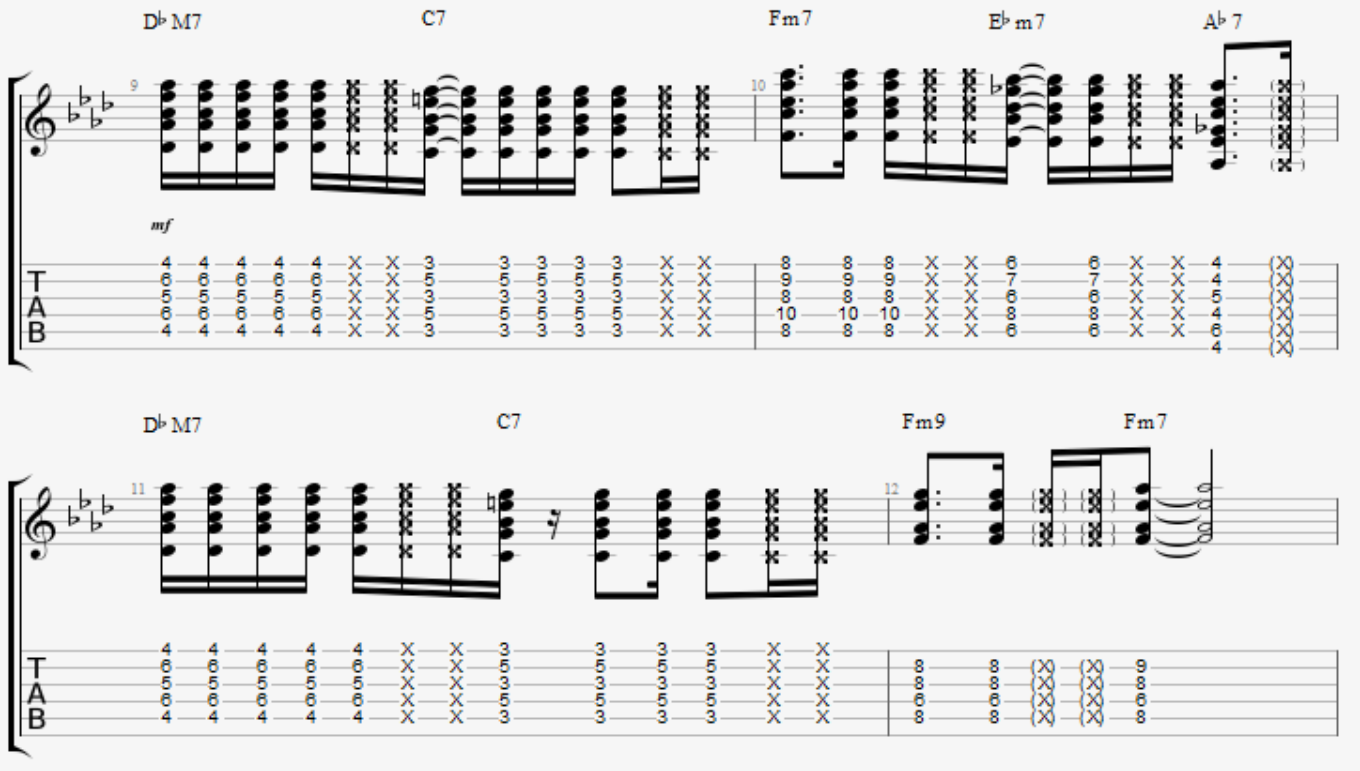
(※鍵盤のフレーズに近いものを弾くことは可能ですが、その場合は事前に仕込みが必要になってくるでしょう)

実際の所、譜例 1 のコード進行を普通のヴォイシングで押さえて、譜割り通りにチェンジしてもそれなりにサマにはなります。

ですが、それだとちょっと寂しいので、少し動きを付けてみましょうか。

例えばこんなのはどうでしょう。

譜例 2、Just the two of us 、イントロ、プレイ案



原曲を聴いての通り、しっとりした曲なので、優しめのストロークで、あまり縦のライン(リズム)を強く出さない様に弾いてみて下さい。

リズムを食っていたりして、コードチェンジのタイミングが元の進行とは変わっています

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

が、最初のドラムと二人だけの部分ならばこれくらいはやっても良いでしょう。

ただ、次の 4 小節は、ベースが入ってきて、元の譜割り通りのチェンジをしてくる可能性が高いので、それに合わせる事を考えていた方が無難です。

後、場合によっては、譜例 2 くらいのアレンジでもやりすぎになる事もあるでしょう。

そういった時は臨機応変に対応できると良いですね。

この曲でなくても良いので、色々なシチュエーションを想定して、自分なりにネタを考えてみて下さい。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved